

令和元年6月28日

会員各位

協会だよりー0007(7月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

2・【トピックス】:

- 第240回月例会 (工場見学・懇親会) 7月10日 (水) JFEスチール千葉地区見学
参加企業数: 23社 参加者数: 36名
- 第二回運営委員会の開催
日時: 7月19日 (金) 場所: 堺化学工業東京支店会議室
内容: 第240回の反省会 第242回一泊研修会の進め方
参加会社: 運営委員会メンバー、担当幹事会社
- 第241回月例会 (触媒工業協会共催講演・懇親会) 日程確定
日 程: 9月9日 (月) 16:00-19:00 如水会館 富士の間
演 題: 「脱炭素社会に向けた国際エネルギー状況と展望」 (仮題)
講 師: 田中伸男氏 (笹川平和財団会長、元IEA事務局長)



- 一. 協会よりのお知らせ
- 二. 「トピックス」
- 三. 「実施済事項」
- 四. 「予定事項」
- 五. 事務局より (7月度の予定)
- 六. 雑学 (金沢八景・金沢文庫を訪ねて) 小林尚道氏

3. 【実施済事項】

- ① 協会だより0006（6月号）をHPに更新・各会員並びにOB各位に通知
- ② 令和元年度版の会員名簿作成用に各会員会社（正・賛助）へ更新情報の確認
- ③ 第240回月例会・見学会の参加者募集・出席確認
- ④ 【会員専用HPの更新】
 - 6月度の経費明細
 - 第240回月例会案内PDF公開
- ⑤ 実績報告の編纂用新エクセルの講習
- ⑥ お知らせ
 - 一般社団法人 新金属協会の新組織
 会長：平本 一男氏 株式会社SUMCO 取締役副社長
 副会長：石井利伸氏 三菱マテリアル株式会社執行役員 電子材料事業部長
 副会長：牧野健士氏 ㈱グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン執行役員
 専務理事：織山 純氏 再任
 - 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐の町田宏之氏が化学物質管理課課長補佐へ異動となりました。新電話番号：03-3501-1512(PHS:75570)
 2月の新年会にて御挨拶をして頂きました。

4. 【予定事項】

- ① 7月10日に第240回月例会見学会の実施
- ② 協会だより0008（8月号）の発行
- ③ 7月19日第2回運営委員会の開催
- ④ 令和元年度の会員名簿の督促並びに更新
- ⑤ 第241回月例会・共催講演会への出席者募集

5. 事務局（7月度の出勤予定） 出勤予定●：9日間

日	月	火	水	木	金	土
	7/01	7/02	7/03	7/04	7/05	7/06
		●			●	
7/07	7/08	7/09	7/10	7/11	7/12	7/13
			見学会		●	
7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20
		●			運営委員会	
7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
		●		●		
7/28	7/29	7/30	7/31			
			●			

（文責：専務理事）

【雑学】金沢八景から称名寺・金沢文庫へ

今回訪問した金沢八景駅・金沢文庫駅は南が横須賀市に接する横浜市金沢区にある京浜急行電鉄の駅です。金沢区は鎌倉時代、武蔵国久良岐郡六浦荘金沢郷といわれた歴史のある街で、金沢八景駅・新杉田駅間には無人運転のシーサイド・ラインが走っています。また今では金沢八景駅近くには横浜市立大学と関東学院大学のキャンパスがあり若者・学生の町となっています。私達は好天の中、金沢八景駅を出発し平潟湾の潮風を爽やかに感じながら散策を始めます。その主なルートは次の通りです。

金沢八景駅（出発）⇒瀬戸神社⇒伊藤博文別邸⇒野島公園（昼食）⇒龍華寺⇒薬王寺⇒称名寺⇒金沢文庫⇒金沢文庫駅（解散）

八景とは何でしょうか？八景とは、ある地域における八つの優れた風景を選ぶ、風景評価の様式です。10世紀、北宋で選ばれた瀟湘（しょうしょう）八景がモデルとなりました。日本各地には多くの八景があり400カ所以上に八景が存在しています。

今回訪問の金沢八景は今でも横浜市金沢区の町名・地名として残っています。

- ◇ 州崎晴嵐：本来は春又は秋の霞…州崎町
- ◇ 称名晩鐘：沈む夕日と山中の寺院の鐘楼の組合せ…金沢町称名寺
- ◇ 小泉夜雨：夜中に降る雨の風景
- ◇ 野島夕照：夕日を反射した赤い水面と夕日を受けた物の組合せ…野島町・夕照橋
- ◇ 乙舳帰帆：夕暮れの中を舟が一斉に港に戻る風景…乙舳町・帰帆橋
- ◇ 平潟落雁：広い空間で飛ぶ雁の群れ…平潟町
- ◇ 瀬戸秋月：秋の夜の月と、それが水面に反射する姿の組合せ…瀬戸・瀬戸橋
- ◇ 内川暮雪：夕方ないし夜の雪が積もった山

《瀬戸神社》横浜市金沢区瀬戸 18-14

金沢八景駅より歩いて5分ほどで早くも瀬戸神社に到着です。



かつて瀬戸の内海は、狭い出入口で平潟湾に接していて、このあたりは急流渦巻く交通の難所でした。鎌倉時代・建久3年（1192）、源頼朝はこの地に伊豆三島明神（三嶋大社）を勧請し、鎌倉の東北の守りとしました。鎌倉幕府滅亡後も鎌倉公方足利持氏・成氏父子の崇敬を受け、徳川家康も参拝しています。（横浜金沢シティガイド協会のパンフ等参照）

瀬戸神社の南には国道を挟んで琵琶島神社があります。琵琶島は島の形が琵琶に似ていることから呼ばれたと言われています。琵琶島には北条政子が近江（滋賀県）の竹生島から勧請した弁天を祭っています。元は島でしたが現在は陸続きとなっています。



頭上の高架にはシーサイド・ラインの電車が走っています。平潟湾に沿って夕照橋を渡り伊藤博文別荘へ向かいます。

《伊藤博文別荘》横浜市金沢区野島町 24

金沢別荘は野島公園登り口の反対側に海に面して建っています。完成は明治 31 年 (1898) とされています。金沢は明治憲法草創の地で、明治 19 年 (1886)、伊藤博文、井上毅、伊東巳代治、金子堅太郎の四人が、金沢州崎町の割烹旅館「東屋」で憲法審議を始め、その後用心のため夏島の伊藤博文別荘へ場所を移し、草案はここで完成したといわれています。明治 22 年 (1889) 日本帝国憲法は発布されました。（「郷土資料事典」記載より）。別荘の完成は草案の完成のかなり後で年代が合致しません。草案を審議した明治 19 年頃の博文の別荘建屋はどの程度のものであったのであろうか？ほんとに有ったの？



別荘に別れを告げ、野島公園の頂上（野島山）へ向かいます。ここで昼食タイムとなります。広場にはテーブル付きベンチが多くあり、手作りの弁当昼食後、久しぶりにプリムスのガスコンロを持参して湯を沸かし、コーヒーを味わいました。野島公園は横浜市の最南部にある平潟湾の入口に浮かぶ、「野島」という島にある公園です。江戸後期に活躍した、浮世絵師歌川広重によって描かれた、『金沢八景』の中の『野島夕照（のじまのせきしょう）』（野島の漁師村に夕焼けが映えている様子を描いた錦絵）で有名な地域です。海拔 57m の野島山には展望台があり、横浜の海や天気の良い日は房総半島、富士山を臨むことができます。昼食後、山を下り帰帆橋を渡って州崎町にあった元「東屋」に近い場所に建立された「憲法草創の碑」に立寄ります。東屋跡はこの先 100m 程の所です。

この碑は昭和10年（1935）憲法草創の一人、金子堅太郎により建立されたものです。



《龍華寺》横浜市金沢区須崎町 9-31



知足山龍華寺といい、真言宗御室派の準別格本山。文治年中（1185～1190）に源頼朝が六浦山中に創建した浄願寺で、明応8年（1499）に融弁上人によって現在の地にあった光徳寺と併合され、移築されました。称名寺に向かう途中に立寄ったお寺ですが、街中にあるお寺としては境内も広く、山門も本堂も堂々とした立派なものでした。

《薬王寺》横浜市金沢区寺前 2-23-52

三療山医王院薬王寺といい、真言宗御室派で龍華寺の末寺です。源頼朝の弟にあたる源範頼の別邸があったこの地に鎌倉時代の初期に建立された三愈山遍照房が始まりと伝えられています。（横浜金沢シティガイド協会のパンフ等参照）

《称名寺》横浜市金沢区金沢町 212-1

金沢山称名寺といい真言律宗の別格本山です。金沢北条氏一門の菩提寺。鎌倉幕府の要人・北条実時が六浦荘金沢の屋敷内に建てた持仏堂から発展が起源とされます。実時は学問を好み、あらゆる文献、文書を集めました。これが金沢文庫の基になりました。実時の孫・第15代執権に就いた貞顕の時代には三重の塔を含む七堂伽藍を完備した大



寺院として全盛期を迎えました。（横浜金沢シティガイド協会のパンフ等参照）



《金沢文庫》神奈川県横浜市金沢区金沢町 142

称名寺の境内よりトンネルを通った先に博物館と図書館を兼ねた金沢文庫があります。



鎌倉時代中期、金沢実時 が武蔵国久良岐郡六浦荘金沢（現横浜市金沢区）につくった文庫で「かねさわぶんこ」ともいいます。現在は神奈川県立金沢文庫図書館。実時は好学の武将で、幕府の要職を退いたあと、金沢の別荘に引退して書物の収集、書写、校合に努め、文庫をつかってこれらの書物を収めました。実時の死後も、子顕時、孫貞顕が学問を好んだので蔵書は増加し、一族はじめ好学の人たちに公開され、鎌倉時代の関東の文教の中心をなしました。しかし、鎌倉幕府の滅亡により文庫も事実上廃絶し、蔵書は称名寺に保管されたが、次第に散失しました。明治になって復興運動が起り、1930年復活。古書約2万冊、古文書7000通が収められています。（ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典参照）

中世の文化の地から明治期の憲法草創の地まで、今日は幅広くフィールドワークをしました。称名寺や金沢文庫の立地場所は思ったより高い所にある様で京急金沢文庫駅までは殆ど下り坂の道で順調に歩けました。しかし駅から金沢文庫に向かう場合は逆に登りの道なのです。皆さん怪我も無く金沢文庫駅で解散となりました。

（記：小林尚道）